

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年2月5日 (2009.2.5)

【公開番号】特開2008-67390(P2008-67390A)

【公開日】平成20年3月21日 (2008.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-011

【出願番号】特願2007-231157(P2007-231157)

【国際特許分類】

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 L 12/56 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月15日 (2008.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

H.324のマルチプレクサレベルのための同期フラグのフレームフラグエミュレーションを回避するために処理されるフレームフラグエミュレーション回避 (FEA) メッセージを第1のH.324系装置から第2のH.324系装置に供給する方法であって、

フレーム情報フィールド、ペイロード長フィールド、ペイロードフィールド、及び、周期的冗長点検 (CRC) フィールドを備えるメッセージを供給することと、

ペイロードを供給することと、

メッセージのペイロードフィールドにペイロードを割り当てることと、

メッセージのペイロード長フィールドにペイロードの長さを割り当てることと、

CRCフィールドを除くメッセージにCRC手続を適用することによりCRC値を計算し、メッセージのCRCフィールドにCRC値を割り当てることと、

FEAメッセージを生成するために、フレームフラグエミュレーション回避手続によりメッセージの処理を行うことと、

を備え、

前記フレームフラグエミュレーション回避手続により行われるメッセージの処理は、前記メッセージの中に所定の値のセットから選択された値を有するオクテットの発生を検出すること、及び、前記FEAメッセージの中にFEAオクテットを挿入することを含む、

ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記メッセージを処理することは、前記メッセージの中のオクテットの各発生を検出することをさらに備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

前記FEAオクテットは、オクテットと同じ値を有する、

請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

前記FEAオクテットは、ある一定の値を有する、

請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記所定の値のセットは、0xA3、0x35、0xE1、0x4D、0x1E、0xB2、0x19、0xB1、0x7Eのセットのうちの1個以上のオクテット値を含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

メッセージペイロードは、メディアペイロード、またはメディアペイロードのセグメントを備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

前記メディアペイロードは、完全なPDUを含む、

請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記メディアペイロードは、あらかじめ定義されたモードに従ってコンフィギュアされる、

請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

メッセージペイロードは、セッション確立情報を含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

前記セッション確立情報は、1個以上のあらかじめ定義されたプロファイルを備える、

請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ペイロード長フィールドは、1オクテットであり、前記CRCフィールドは、2オクテットである、

請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

前記ペイロードの長さは、0と150オクテットとの間である、

請求項1に記載の方法。

【請求項 13】

前記FEAメッセージは、該FEAメッセージに先行する第1の同期フラグと、該FEAメッセージに続く第2の同期フラグと、によりフレームされる、

請求項1に記載の方法。

【請求項 14】

前記第1の同期フラグ及び前記第2の同期フラグの両方のそれぞれは、オクテット0xA3とオクテット0x35を備える、

請求項13に記載の方法。

【請求項 15】

前記FEAメッセージと、移動体レベルフラグが付随した1個以上の付加的なFEAメッセージと、をインターリーブすることをさらに備える、

請求項1に記載の方法。

【請求項 16】

前記第2のH.324系装置からの1個以上の移動体レベルフラグを前記第1のH.324系の装置で検出することと、

前記第2のH.324系の装置が前記FEAメッセージをサポートしていないことを、前記第1のH.324系の装置で、決定することと、

H.245手順を使用したセッションを確立することと、

をさらに備える請求項1に記載の方法。

【請求項 17】

前記1個以上の移動体レベルフラグは、移動体レベルフラグについてのあるしきい番号

を超える、

請求項16に記載の方法。

【請求項 18】

前記FEAメッセージを検出することと関連したタイムアウトが生じたことを決定することと、

前記第2のH.324系の装置が前記FEAメッセージをサポートしないことを、前記第1のH.324系の装置で、決定することと、

H.245手順を使用したセッションを確立することと、

をさらに備える請求項1に記載の方法。

【請求項 19】

前記FEAメッセージは、初期移動体レベルフラグが搬送される前に搬送される、

請求項1に記載の方法。

【請求項 20】

前記FEAメッセージは、初期H.245メッセージの前に搬送される、

請求項1に記載の方法。

【請求項 21】

前記FEAオクテットは前記FEAメッセージ中のオクテットの直前に挿入される、

請求項1に記載の方法。

【請求項 22】

H.324のマルチプレクサレベルのための同期フラグのフレームフラグエミュレーションを回避するために処理されるフレームフラグエミュレーション回避（FEA）メッセージを他のH.324系装置に供給するH.324系装置であって、

フレーム情報フィールド、パイロード長フィールド、パイロードフィールド、及び、周期的冗長点検（CRC）フィールドを備えるメッセージを供給する手段、

パイロードを供給する手段、

メッセージのパイロードフィールドにパイロードを割り当てる手段、

メッセージのパイロード長フィールドにパイロードの長さを割り当てる手段、

CRCフィールドを除くメッセージにCRC手順を適用することによりCRC値を計算し、メッセージのCRCフィールドにCRC値を割り当てる手段、

FEAメッセージを生成するために、フレームフラグエミュレーション回避手順によりメッセージの処理を行う手段、

を備え、

前記フレームフラグエミュレーション回避手順により行われるメッセージの処理は、値のセットから選択された値を有するオクテットが前記メッセージの中にあれば当該オクテットを検出すること、及び、前記FEAメッセージの中にFEAオクテットを挿入することを含む、

ことを特徴とするH.324系装置。

【請求項 23】

コンピュータを、H.324のマルチプレクサレベルのための同期フラグのフレームフラグエミュレーションを回避するために処理されるフレームフラグエミュレーション回避（FEA）メッセージを他のH.324系装置に供給するよう機能させるプログラムであって、

前記プログラムは、前記コンピュータを、

フレーム情報フィールド、パイロード長フィールド、パイロードフィールド、及び、周期的冗長点検（CRC）フィールドを備えるメッセージを供給する手段、

パイロードを供給する手段、

メッセージのパイロードフィールドにパイロードを割り当てる手段、

メッセージのパイロード長フィールドにパイロードの長さを割り当てる手段、

CRCフィールドを除くメッセージにCRC手順を適用することによりCRC値を計算し、メッセージのCRCフィールドにCRC値を割り当てる手段、

FEAメッセージを生成するために、フレームフラグエミュレーション回避手順によりメ

ッセージの処理を行う手段、
として機能させ、

前記フレームフラグエミュレーション回避手順により行われるメッセージの処理は、値
のセットから選択された値を有するオクテットが前記メッセージの中にあれば当該オクテ
ットを検出すること、及び、前記FEAメッセージの中にFEAオクテットを挿入することを含
む、

ことを特徴とするプログラム。